

2021年4月30日  
南海電気鉄道株式会社

## 国内のケーブルカーで初！6月1日(火)～ ケーブルカーを 再生可能エネルギー100%で運行

南海電気鉄道株式会社（社長：遠北 光彦）では、国連が定める6月5日の「環境の日」を迎えるにあたって、2021年6月1日（火）から、鋼索線（高野山ケーブルカー）を再生可能エネルギー100%で運行します。

当社では、事業活動におけるCO<sub>2</sub>の排出削減に向け各種施策を実施しており、鋼索線においても、省エネルギー車両の導入などを進めてきました。今回、関西電力株式会社の「再エネECOプラン」を適用することにより、再生可能エネルギー100%での運行を実現し、さらに環境に優しい交通手段を提供します。

今後も、サステナビリティ方針に基づき、「脱炭素社会の実現」に向けて取り組んでいきます。詳細は別紙のとおりです。



鋼索線（高野山ケーブルカー）車両外観

南海グループは、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGsの目標アイコン」を明示しています。今回ご案内の取組みは、7番・13番に繋がるものです。



## 1. 実施路線

鋼索線（極楽橋～高野山駅）

## 2. 開始日

2021年6月1日（火）

## 3. 内容

鋼索線を運行する電力について「再エネEcoプラン<sup>※</sup>」を適用することで、再生可能エネルギー100%で運行します。なお、国内の鋼索線において、再生可能エネルギーを100%使用して運行する事例は初めてとなります。これにより、CO<sub>2</sub>排出量を年間で約60t削減します。

※「再エネEcoプラン」は、関西電力株式会社が非化石価値取引市場から調達した、太陽光・水力・風力発電等の環境価値を付加した電力を使用するプランです。このプランを利用することで、実質的に再生可能エネルギーによる電力として取り扱うことができます。また、「地球温暖化対策の推進に関する法律」の「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」において、同プランで使用する電気をCO<sub>2</sub>排出係数をゼロとしてCO<sub>2</sub>排出量を算定することができます。

## &lt;参考：環境保全の取組みについて&gt;

南海グループでは「南海環境ビジョン2030」を掲げ、政府の2030年度の温室効果ガス削減目標（2013年度比26%削減）に対して、2019年度はCO<sub>2</sub>排出量を24.3%削減しました。近年の主な取組みを紹介します。

2015年 5月 南海本線羽衣駅に太陽光発電システムを新設し、駅施設で電力利用。

2015年10月 省エネルギー車両「8300系」を順次導入。

2016年10月 大阪府泉南郡岬町淡輪の当社敷地に太陽光発電システムを新設。

2019年 3月 鋼索線において省エネルギー車両へ更新。

2021年 1月 当社が管理する「なんかいの森」においてCO<sub>2</sub>の吸収を促進し、2019年度分のJ-クレジット<sup>※</sup>509t-CO<sub>2</sub>の認証を取得。取得したクレジットはお客さまにご利用いただく商品・サービスなどに起因して発生するCO<sub>2</sub>のオフセットに活用。

※省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組みによる、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度



8300系



淡輪太陽光発電所



なんかいの森間伐作業

上記のほか、商業施設で発生した排水を、微生物による有機物の分解や活性炭濾過を経て滅菌処理し、トイレの流し水や植栽の水まきに再利用するなどの取組みを行っています。

今後も、エネルギー効率の高い車両や流通・不動産設備を継続して導入する一方で、従業員の節電意識を高め、「南海環境ビジョン2030」の目標達成を目指します。

以上